



地域で 気軽にできる 支援があります！

☎障害福祉室 ☎727・9506 ☎727・3539



障害者を支援する仕事、と聞くと「大変そう…」「難しそう…」といった印象を持つことも多いのではないのでしょうか。しかし、中には専門知識や技術がなくても、自分の得意なことを生かして、「家の近く」で「空いた時間に少し」といった気軽にできる支援もあります。

今回は、障害のあるかたの生活を支える2つの仕事をご紹介します。

その1 料理を作ったり、話し相手になったり… グループホーム支援スタッフ

グループホームは、身体障害・知的障害・精神障害などのあるかたが、支援を受けながら共同生活する場です。支援スタッフは、料理・洗濯・掃除などのほか、いろいろな相談に乗ったり、介護を行う場合もあります。

※勤務時間は、短時間から夜勤まで幅広く、仕事内容によっては資格不要です。

家事の経験を生かして、 気軽に楽しく働いています！

遠藤 禮子さん(58歳)

平成30年10月から、明光ワークス「あいあいほくせつ」で活躍中！



ベッドメイクを手伝う
遠藤さん(写真右)

始めたきっかけは？

家事の合間にできる仕事を探していたときに、グループホーム支援スタッフの求人を見つけました。趣味の料理を生かすことができ、短時間から働けて時給が良く、職場も近くて、私にぴったりの条件でした。

仕事内容は？

夕方3～4時間で、食事の準備や後片付け、洗濯や移動の補助など、日常生活のさまざまなお手伝いをしています。利用者みなさんと会話しながら、楽しく仕事をしています。

やりがいや楽しさ、また気を付けていることは？

料理や掃除など、いつもの家事を仕事に生かせるのは魅力だと思います。また、限られた時間の中で、効率的に働けるよう工夫できる楽しさがあります。障害のあるかたとのコミュニケーションが難しいときもありますが、みなさんが温かく接してくださるので助かっています。



「おいしい料理をいつも
ありがとう」という声に、この
仕事をして良かったと
実感しています。

その2 買い物などの外出に同行し、一緒に楽しむ ガイドヘルパー

ガイドヘルパー(移動支援従業者)は、障害のあるかたが外出する際に同行し、介護や支援を行う仕事です。交通機関を利用するときや、車いすの乗降などの補助、周囲の人とのコミュニケーションのサポートなどを行います。

※介護職員初任者研修、ガイドヘルパーなどの資格が必要です。

利用者のかたの笑顔が増えるよう、 積極的に声をかけて楽しく過ごしています！

鈴木 耕生さん(34歳)

平成25年4月から、NPO法人箕面市障害者の生活と労働推進協議会で活躍中！

始めたきっかけは？

以前から介護の仕事に興味があり、自営業の傍らにできるガイドヘルパーの資格を取ろうと思ったのがきっかけです。休みの日に、短期間の講習を受けて資格を取り、現在は月2～3回のペースで仕事をしています。

仕事内容は？

障害のあるかたが安全に外出できるよう付き添い、電車の乗り降りや、料金の支払いなどをサポートしています。映画を観たり、プールで泳いだり、買い物をするなどして、一緒に楽しく過ごしています。

やりがいや楽しさ、また気を付けていることは？

長い時間を一緒に過ごす中で、少しずつ分かり合えて意思疎通がスムーズになり、利用者のかたの笑顔が増えてくることにやりがいを感じています。少しでも楽しく過ごしてもらえるよう、積極的に声をかけ、明るい雰囲気づくりを心がけています。



一緒に外出して喜んでもら
えると、うれしくなります。

いかがでしょうか？「家の近く」で「空いた時間に少し」といった、気軽に始められる障害者支援は他にもたくさんあります。障害者支援に興味を持たれたかたは、障害福祉室(☎727・9506 ☎727・3539)へお問い合わせください！市内の障害者事業所をご案内します。